

担当地区	氏名	電話	
山目	沢内 高橋 義喜	25-3394	
	主任児童委員	佐藤 恭子	23-4865
		小野寺京子	25-5810
	1	佐藤 利夫	23-7494
	2	永澤 好治	23-3956
中里	3	阿部 政勝	23-1338
	4	佐藤 淑	23-0341
	5	寺澤 淑子	23-7583
	6	高橋喜久男	23-5910
	7	小野寺恵子	23-7913
	10・11	小野寺峰子	21-2819
	12	小野寺正昭	23-6747
	里が丘	熊谷 民生	23-7592
	蘭梅・太平	茶畑トシ子	21-1449
	主任児童委員	吉家 本浄	23-7873
		阿部 千恵	21-1338
	真滝	三関1	阿部智賀子
三関1		藤原キミ工	26-4234
三関2		中島 祐寛	23-6865
三関3		高橋 征子	26-3121
三関3		佐々木エイ子	23-7370
三関4		小川みどり	26-4307
2		千葉ミサ子	21-3676
3・4		本田 秀行	23-4749
5・6		木村 英子	21-3697
7		東海林英四郎	21-0652
8		熊谷 秀子	23-0562
9		蜂谷 忠一	23-0418
10		千葉 利秋	23-0445
11		伊藤 則男	23-6127
厳美		12	吉田 昌夫
	13	齋藤 英子	23-6736
	13	菅原 節子	21-2567
	東中田	田中 多恵	23-6733
	東中田	佐藤 洋明	21-4334
	14	千葉 亨	23-5039
	15	阿部 恵美子	21-1015
	15	熱海 保	21-1530
	水口	高橋 鈴枝	23-5946
	主任児童委員	三浦 悦子	21-1476
		上杉 健一	21-3557
	1	金井 正子	29-2094
	2	阿部 美代子	29-2446
	3	千葉 節夫	29-2323

12月1日付けで、新しい民生委員が決まりました。民生委員・児童委員は、厚生労働大臣が3年間の任期で委嘱する無報酬の委員です。皆さんの立場に立ちながら相談に応じ、支援に努めます。

また、市は民生委員・児童委員の職にある人を一関市民生相談連絡員に委嘱し、市独自の事業への協力をお願いしています。

▽介護に疲れている▽わが子に手を上げてしまう▽子どもが家に引きこもりがち―など、生活上の悩みを担当地区の民生委員・児童委員にお気軽にご相談ください。

■民生委員・児童委員、一関市民生相談連絡員(敬称略)■

担当地区	氏名	電話
山目	宮下 田村 勢子	21-3235
	宮下 松谷 文子	21-2984
	宮前 鈴木 芙佐子	23-3825
	宮前 千葉 隆夫	23-0545
	竹山・中央 佐藤 親幸	23-3073
	竹山・中央 浅井 多喜子	23-3504
	五代 小岩 文子	21-5068
	銅谷 佐藤 耀子	26-5785
	三反田1 今野 絹江	23-4010
	前田・三反田2 千葉 洋子	23-3422
	5 黒澤 常德	25-2139
	5 佐藤 紀子	25-2757
	青葉1 阿部 昭代	23-3189
	青葉2 佐藤 昌	23-5271
	幸 鈴木 五郎	23-0886
一関	6 米澤 昭十郎	25-2415
	才天 佐藤 榮也	25-3934
	才天 稲垣 悦子	25-5289
	十二神 千田 敏明	26-1080
	末広1 後藤 伸一	23-6454
	末広2 佐藤 百合子	23-1991
	7南 三浦 ツヨ子	25-3640
	7北 熊谷 直通	25-2685
	8 保坂 久子	25-2667
	8 古内 三郎	25-3592
	共林 佐々木 富男	25-4681
	中通 鈴木 良一	25-5698
	9 菅原 幸子	25-2230
	10 阿部 裕	25-4403
	11・12 阿部 哲夫	25-4555
山手	岩 渕 征子	23-8913
	山手・13 中村 匡三	25-4325
	沢内 菅原 満	25-2940

担当地区	氏名	電話
一関	1 菅原 貞子	23-0593
	2 郷内 善子	21-2498
	3・4 吉川 真理子	23-8411
	5 本多 良子	26-3280
	6 小野寺 友子	23-9089
	7 佐藤 常子	23-3848
	8 小野 洋子	23-5004
	9 高橋 美恵子	23-2735
	銀座・大町 沼倉 正博	21-1346
	12・13 柳澤 久子	23-2386
	14 菅原 ひろ子	23-8391
	15 水澤 美喜子	23-0898
	16東 兒玉 恵子	21-1763
	16中 佐藤 勝美	23-0317
	16西 稲邊 頼子	23-0241
16西 千葉 容子	23-7630	
17 小野寺 俊雄	26-2530	
17 高橋 イツ子	23-6592	
18・19 松岡 美枝子	23-3035	
20 菅原 京子	23-7751	
20 澤野 律子	23-1413	
釣親 小野寺 啓悦	21-0502	
高崎 増山 京子	21-0886	
台東 塩原 ひさ子	23-7965	
関が丘1 及川 トシ子	23-7606	
関が丘2 菊地 清人	23-0872	
関が丘3 佐藤 仁子	21-1716	
関が丘4 小野寺 勇	26-2716	
関が丘5 松岡 幸男	26-3941	
関が丘6 渡 渕 政志	26-2979	
鈴木 トキ	26-3086	
高橋 道代	23-5170	
主任児童委員		

民生委員の皆さんです

田河津簡易水道施設整備事業(水道未普及地域解消事業・生活基盤近代化事業)の再評価を行う簡易水道施設整備事業評価委員会は10月7日、催されました。同委員会は二階堂満さん(一関高専教授)を委員長に、4人の

簡易水道事業評価 計画見直し1件を決定

学識経験者などで構成。委員会では▽工事費が増額になった理由▽以前からの水源はどうするか―などについて質疑。最後に二階堂委員長が意見をとりまとめ、「事業は継続するが、水道未普及地域解消事業と生活基盤近代化事業の増額が必要であるため事業計画の見直しとする」との意見書を市長へ提出しました。

市はこれを受けて、同事業計画を見直すこととしています。評価結果は、市ホームページに掲載しています。

市は給水装置設置資金の融資あっせん・利子補助補助を行っています。簡易水道施設整備済み区域内にお住まいで、まだ給水申し込みがない人は、利用していただき、水道の普及にご協力をお願いします。



テープカットで施設の稼働を祝いました

舞川簡易水道事業の通水式は11月18日、舞川字番台地内に整備された番台浄水場で行われました。テープカットや通水稼働のスイッチが押され、関係者や地域住民が待望の通水を喜び合いました。

式では、市の阿部上下水道部長が「本事業は舞川地区の約6割をカバーする計画。利用組合の活動を支援しながら早期の給水開始を目指したい」とあいさつ。伊藤桂悦舞川地区水道利用組合長らが「これまでは地下水

を利用していたが水質に不安があった。次世代の健康のために安全・安心な水道が利用できることを大変うれしく思う」となどと祝辞を述べました。

舞川地区は長島簡易水道から給水を受けている地域を除き水道が未整備で、これまで住民は井戸水などを生活用水として使用。地域の要望を受けて平成16年に事業着手し、番台取水場をはじめ番台浄水場、配水池、ポンプ場などを順次整備しました。

計画給水量は493世帯・1430人で、30年度までに32億円の事業費で同地区の6割をカバーする計画。今回は字中里、小塚外の約60世帯に給水が可能となりました。

舞川簡易水道事業 60世帯に待望の通水開始

精神保健福祉シンポジウム 自殺のない地域をめざそう



4人が取り組みなどを発表したシンポジウム

「平成21年は自殺者が50人と全国平均を大きく上回った。男女は7対3で男性が多く、男性は40歳から60歳の働き盛り世代が、女性は60歳から80歳代の自殺者が多い」と報告。

根岸副代表は「生き心地のよい地域をめざして、自殺対策に必要なこと」と題し講演。「生きる支援が自殺対策になる。問題を抱えている人がどこかの相談窓口にとどり着けるようにセーフティーネットを広げ、それぞれができることを行っていく」と呼び掛けました。

シンポジウムでは、菅原智一関保健所長を司会に▽小山英樹さん(住民代表)▽秋保茂樹・秋保クリニック院長▽岩渕結祥・市民生児童委員連絡協議会会長▽藤澤俊樹・NPO法人いわて生活者サポートセンター事務局長の4人が、日頃の取り組みなどを発表。菅原所長は最後に「自殺は本人の問題ではなく、死ぬほどつらい苦痛があるから。周囲がその苦痛に気づき、支え合える地域を目指そう」とまとめました。

市や実行委員会が主催する「精神保健福祉シンポジウム」は11月30日、一関文化センターで催されました。715人が参加し、NPO法人自殺対策支援センターライフリンク副代表の根岸親さんによる講演「気づき・見守り・支えあえる地域をめざして」をテーマにしたシンポジウムなどで、地域全体で自殺に傾く人を支えていこうと確認しました。

最初に一関保健センター職員が、本市の状況と対策について